授業科目等の概要

	（医療専門課程柔道整復学科）																
	分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
	必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
1	○			健康心理学	心理学	2前	34	2	○			○			○	
2	○			人文科学２	医学英語	1後	34	2	○			○			○	
3	○			健康科学	栄養学	2後	34	2	○			○		○		
4	○			自然科学１	生化学	1前	34	2	○			○		○		
5	○			自然科学２	生化学	1後	34	2	○			○		○		
6	○			社会科学１	社会と経済	1前	34	2	○			○		○		
7	○			社会科学２	医療情報学１	3前	34	2	○			○		○		
8	○			人体の構造１	解剖学	1前	34	2	○			○			○	
9	○			人体の構造２	解剖学	1後	34	2	○			○			○	
10	○			人体の構造３	解剖学	1前	34	2	○			○			○	
11	○			人体の構造４	解剖学	1後	34	2	○			○			○	
12	○			人体の構造５	解剖学	2前	34	2	○			○			○	
13	○			人体の構造６	解剖学	2後	34	2	○			○			○	
14	○			人体の機能１	生理学	2前	34	2	○			○		○		
15	○			人体の機能２	生理学	2後	34	2	○			○		○		
16	○			人体の機能３	生理学	3前	34	2	○			○		○		
17	○			人体の機能４	生理学	3後	34	2	○			○		○		
18	○			人体の構造と機能１	運動学総論	3前	34	2	○			○			○	

19	○			人体の構造と機能２	運動学	3後	34	2	○			○			○	
20	○			疾病の成り立ち１	病理学概論	2前	34	2	○			○		○		
21	○			疾病の成り立ち２	病理学概論	2後	34	2	○			○		○		
22	○			疾病の診方と病態１	一般臨床医学総論	3前	34	2	○			○			○	
23	○			疾病の診方と病態２	一般臨床医学総論	3後	34	2	○			○			○	
24	○			疾病の診方と病態３	一般臨床医学各論	4前	34	2	○			○			○	
25	○			疾病の診方と病態４	一般臨床医学各論	4後	34	2	○			○			○	
26	○			疾病の診方と病態５	整形外科学	2前	34	2	○			○			○	
27	○			疾病の診方と病態６	整形外科学	2後	34	2	○			○			○	
28	○			外科学概論１	外科学概論	3前	34	2	○			○		○		
29	○			外科学概論２	外科学概論	3後	34	2	○			○		○		
30	○			保健と衛生１	衛生学・公衆衛生学	4前	30	2	○			○			○	
31	○			保健と衛生２	環境衛生・感染症・消毒	4後	30	2	○			○			○	
32	○			柔道１	柔道実技	1前	30	2			○	○			○	
33	○			柔道２	柔道実技	1後	30	2			○	○			○	
34	○			柔道３	柔道実技	2前	30	2			○	○			○	
35	○			柔道４	柔道実技	3前	30	2			○	○			○	
36	○			柔道５	柔道実技	4前	34	2			○	○			○	
37	○			社会保障制度	療養費の正しい取り扱い・職業倫理	3前	15	1	○			○		○		○
38	○			関係法規１	関係法規	4前	34	2	○			○			○	
39	○			関係法規２	医療保険の仕組みと関係法規	4後	34	2	○			○			○	
40	○			基礎柔道整復学１	体の仕組み	1後	34	2	○			○		○		

41	○			基礎柔道整復学２	柔道整復総論	1後	34	2	○			○			○	
42	○			基礎柔道整復学３	体の仕組み	1前	34	2	○			○			○	
43	○			基礎柔道整復学４	柔道整復総論	1前	34	2	○			○		○		
44	○			基礎柔道整復学５	柔道整復歴史と沿革	1前	34	2	○			○		○		
45	○			外傷の保存療法１	外傷の保存療法	2前	34	1			○	○		○		
46	○			外傷の保存療法２	運動生理学	2後	34	1			○	○			○	
47	○			臨床柔道整復学１	骨折各論（上肢・頭部・体幹）	2前	34	2	○			○			○	
48	○			臨床柔道整復学２	骨折各論（上肢・頭部・体幹）	2後	34	2	○			○			○	
49	○			臨床柔道整復学３	脱臼各論（上肢・頭部・体幹）	2前	34	2	○			○		○		
50	○			臨床柔道整復学４	脱臼各論（上肢・頭部・体幹）	2後	34	2	○			○		○		
51	○			臨床柔道整復学５	軟部組織損傷各論（上肢・頭部・体幹）	3前	34	2	○			○		○		
52	○			臨床柔道整復学６	軟部組織損傷各論（上肢・頭部・体幹）	3後	34	2	○			○		○		
53	○			臨床柔道整復学７	グループ研究（研究論文）	3前	34	2	○			○		○		
54	○			臨床柔道整復学８	軟部組織損傷各論（下肢）	3後	34	2	○			○		○		
55	○			臨床柔道整復学９	骨折・脱臼各論（下肢）	3前	34	2	○			○		○		
56	○			臨床柔道整復学10	骨折・脱臼各論（下肢）	3後	34	2	○			○		○		
57	○			柔道整復後療法１	柔道整復学総論（外傷予防・物理療法総論）	2前	34	1			○	○		○		
58	○			柔道整復後療法２	高齢者の外傷予防	2後	34	1			○	○			○	
59	○			包帯固定法１	基本包帯法	1前	34	1			○	○		○		
60	○			包帯固定法２	基本包帯法	1後	34	1			○	○		○		
61	○			包帯固定法３	包帯固定法	1前	34	1			○	○		○		
62	○			包帯固定法４	包帯固定法	1後	34	1			○	○		○		

63	○			柔道整復実技１	人体の触察法	1後	34	2			○	○			○	
64	○			柔道整復実技２	上肢骨折実技と下肢骨折実技	3前	34	1			○	○		○		
65	○			柔道整復実技３	上肢骨折実技と下肢骨折実技	3後	34	1			○	○		○		
66	○			柔道整復実技４	上肢脱臼実技	3前	34	1			○	○			○	
67	○			柔道整復実技５	上肢脱臼実技と下肢脱臼実技	3後	34	1			○	○			○	
68	○			柔道整復実技６	認定実技対策	4前	34	1			○	○		○		
69	○			柔道整復実技７	認定実技対策	4後	34	1			○	○		○		
70	○			柔道整復実技８	物理療法の取り扱い方	3後	34	1			○	○			○	
71	○			観察能力と分析	観察能力と分析	1前	15	1			○	○	○	○		
72	○			スポーツ外傷の予防	高齢者及び競技者の外傷予防技術	3前	15	1	○		○	○			○	○
73	○			運動指導法	高齢者・競技者・健常者の運動指導法	2後	34	2			○	○			○	
74	○			臨床実習１	早期臨床実習	1後	45	1			○	○		○		
75	○			臨床実習２	医療センター・介護施設実習	2前	45	1			○		○	○		○
76	○			臨床実習３	附属整骨院臨床実習	3後	45	1			○	○		○		
77	○			臨床実習４	病院実習	4前	45	1			○		○		○	○
78	○			社会生活	学会・救護実習等	1後	15	1			○	○	○	○	○	○
79	○			健康づくり運動の実際１	ウォーキング・ジョギング	2前	15	1			○	○		○		
80	○			健康づくり運動の実際２	エアロビクス・ストレッチ	3前	15	1			○	○		○	○	○
81	○			健康づくり運動の実際３	水泳・水中運動	3後	15	1			○		○	○	○	○
82	○			健康づくり運動の実際４	レジスタンス運動、ウォーミングアップとクーリングダウン	3後	15	1			○	○		○		○
83	○			応用柔道整復学１	医療情報学２	4前	34	2	○			○		○		
84	○			応用柔道整復学２	解剖学（国対）	4前	34	2	○			○		○		

85	○			応用柔道整復学３	解剖学（国対）	4後	34	2	○			○		○	○	
86	○			総合柔道整復学１	生理学（国対）	4前	34	2	○			○		○		
87	○			総合柔道整復学２	生理学（国対）	4後	34	2	○			○		○		
88	○			総合柔道整復学３	生理学（国対）	4後	34	2	○			○		○		
89	○			総合柔道整復学４	柔道後期、柔道整復学（国対）	4後	34	2	△		○	○		○	○	
90	○			総合柔道整復学５	卒業論文	4後	34	2	△		○	○		○		
91	○			総合柔道整復学６	柔道整復学・総論、体幹、上肢（国対）	4前	34	2	○			○		○		
92	○			総合柔道整復学７	運動学・リハビリ（国対）	4前	34	2	○			○			○	
93	○			総合柔道整復学８	柔道整復学・下肢（国対）	4後	34	2	○			○			○	
94	○			総合柔道整復学９	運動学・リハビリ（国対）	4後	34	2	○			○			○	
95	○			総合柔道整復学10	整形外科学／外科学（国対）	4後	34	2	○			○			○	
96	○			柔道整復術の適応１	柔道整復学総論	2後	34	2	○			○		○		
97	○			柔道整復術の適応２	医用画像の理解	4前	34	2	○			○		○		
98	○			体力測定法と評価法	体力測定と評価	2前	34	2			○	○		○		
99	○			生活機能の障害と機能回復１	リハビリテーション医学	2前	34	2	○			○			○	
100	○			生活機能の障害と機能回復２	リハビリテーション医学	2後	34	2	○			○			○	
101	○			柔道整復理念と職業倫理	解剖見学実習　・　大阪保険講演会　等	2前	15	1			○		○		○	○
合計					科目	3343　単位時間（　174　単位）										

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
所定の修業年限以上在学し所定の単位を修得した者については、認定会議の審議を経て卒業を認定し、卒業証書を授与する。	１学年の学期区分	2期
	１学期の授業期間	34週

（留意事項）

１　一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。

２　企業等との連携については、実施要項の３（３）の要件に該当する授業科目について○を付すこと。